

令和6年度 「体験の風をおこそう」なら・あそびの広場

- [主 催] 体験の風をおこそう in 奈良 実行委員会
[期 日] 令和6年11月3日（日・祝）10:00～15:00
[目 的] 子どもたちへの体験活動の重要性や必要性を啓発する機会とする。
[対象/参加] 対象500名 / 参加820名
[担 当] 森岡亮平（企画指導専門職）、坂本純一（企画指導専門職）、
金端秀太（事業推進係）、西田早織（事業推進係）、
佐藤素子（所長）、角田正博（次長）

1 趣 旨

現在、体験を通して学ぶ場が不足していることにより、子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験の機会が減少してきている。本事業は、地域ぐるみの実行委員会が子どもと保護者へ楽しみながら体験できる機会を提供することで、子どもたちへの体験活動の重要性や必要性を啓発する機会とする。また、併せて、体験活動推進年（3年目）を踏まえ、そとチャレラリーを実施する。

2 プログラム展開

『なら・あそびの広場』の開催をハロウィンイベントと同日開催することにより、目標の来訪者の獲得を目指す。

実行委員会参画団体（ブース出展内容）

- ・奈良県キャンプ協会（ハイタワーコンテスト）
- ・奈良県立野外活動センター（森のめぐみであそぼう！わなげ、コースターつみ、どんぐりうつし）
- ・奈良県子ども・若者支援団体協議会/奈良県子ども会連合会（バルーンアート）
- ・平成榛原子供のもり公園活性化協会（恐竜の国フォトテリング）小雨決行
- ・国立曽爾青少年自然の家（マシュマロを焼いてスモアを食べよう！）

※全体で『そとチャレラリー』を実施した

（同時開催：ハロウィンイベント 主催：平成榛原子供のもり公園活性化協会）

3 活動の様子



4 まとめ

アンケート結果から体験ブースが良かったという肯定的意見が100%だった。どのブースも楽しかったというアンケート結果だった。今年は、スモアという新しい取組だったが、参加者の満足度が高かったので来年度に引き継ぎたい。ノベルティグッズを配布し、体験活動の重要性の普及や曽爾青少年自然の家を知ってもらおう広報を行った。安全にスムーズに運営を行うことができたので、来年度以降もこの体制で実施することが望ましい。